

マレーシアに来て21週目、今日は中国人にとっての新年に当たる旧正月の日だった。こちらでは旧正月を迎えると新年を祝い街のそこかしこで花火が打ち上げられる。前夜の9時ごろから既に花火が散発的に打ち上げられ、日付が変わるとともに盛大に花火が打ち鳴らされる。花火は自治体や企業のみならず、一般家庭からも立派な花火が打ち上げられる。企業の場合宣伝の為であったり、個人なら見栄を張る為であったりと、何か取り決めがある訳ではなく、各団体に委ねられているようだ。厳かに新年を迎えるというより、賑やかに新年を祝いたいという国民気質の違いの表れであろう。日本の除夜の鐘を聞きながら静かに年を越す方がやはり自分には馴染み深いのが、これはこれで祭りに来たようで楽しいものだった。

サバ州の正月には日本のおせちのような特別な料理などは無いが、親族を呼んで賑やかな食事会を行う。家庭にもよるが、滞在先の周りでは大体10~30人位の規模で各家庭の庭にテーブルを並べてパーティを行っていた。日本の初詣のように伝統衣装を着てくるかと期待していたが、いつもと同じように普段着を着ていたのが少々残念であった。しかしよく見ると彼らは皆一様に赤色系統の服を着ており、何故かと聞いてみると中国人にとって幸運を意味する赤色の服を着るのが正月の習慣なのだそう。

また驚いたことにお年玉の文化もあり、子供たちが朝から楽しみにしていた。ただこちらでは日本と違い、既婚者から未婚者へとお年玉をあげるようで年齢は関係無いらしい。

マレーシアも残すところ後1週間強となった。非常に居心地の良い国で、去り難く名残惜しい気持ちで一杯である。小倉



正月パーティーの様子。ゲストのため準備中





朝市の様子。写真の果物はポメロといい、幸運を表すのだとか。天井から下げられている赤提灯も正月飾りの一部。